

数学

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
数学	数学A	2	3年次・L2群	選択

目 標	履修の条件・連絡
図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	・履修の条件は特にない。

使用教科書 (出版社)	改訂版 新 高校の数学A (数研出版)	副教材 (準備物)	ポイントノート 数学A (数研出版)
----------------	------------------------	--------------	-----------------------

学 習 の 年 間 計 画	期	月	学習内容 (単元・項目)	学 習 の ね ら い
	1 学 期	4月	第1章 場合の数と確率 (順列・組合せ)	<ul style="list-style-type: none"> ・場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。
		5月	(確率)	
		6月		
	7月	第2章 図形の性質 (平面図形)		
2 学 期	9月	(空間図形)	第3章 数学と人間の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・空間図形の性質について理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにする。 ・様々な人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見だし、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を、数学を用いて考察できるような力を培う。
	10月			
	11月			
	12月			
3 学 期	1月			2学期のつづきをする。 (1月末まで)
	2月			
	3月			

学 習 評 価	観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	規 準	各分野の内容について、考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。 定理、公式、記号などが理解できている。
	手 段	・ノート ・授業態度	・定期考査	・定期考査	・定期考査 ・課題
	各学期や年間の学習状況の 評価方法	・定期考査 (年5回)、ノート、授業態度			

学習上の 留意点	・日常生活の中で役に立つ概念などもあるので、しっかり学習すること。
-------------	-----------------------------------